

【医療情報：MERS（中東呼吸器症候群）】

1 はじめに

サウジアラビアなど中近東を中心に発症している中東呼吸器症候群（MERS（マーズ））について報告致します。2012年に初めて確認された感染症で、感染経路は明確ではなくラクダからもウイルスが検出されています。主体はコロナウイルスによる呼吸器感染症で、人から人に濃厚接触した場合にうつるようです。予防接種や治療薬がありません。WHOの発表では、感染患者数は1、154人、関連する死亡報告数は少なくとも431人としています。（6月2日現在）全体の79%はサウジアラビア、13%はUAEで発症しており渡航の際は十分注意して下さい。なお、アンゴラでの感染者は確認されておられません。

2 症状

主な症状は、発熱、せき、息切れなどです。下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。MERSに感染しても、症状が現われない人や、軽症の人もいますが、特に高齢の方や糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患のある人で重症化する傾向があります。

3 予防

季節型インフルエンザのように、うがい、手洗いをこまめにする。加熱食品を食べる、野菜果物は良く洗う、咳や発熱している人に近づかない、など。

4 発症地域

（1）中近東（アラブ首長国連邦、イエメン、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、ヨルダン、レバノン）を中心に発症しており、ヨーロッパ（イタリア、英国、オーストリア、オランダ、ギリシャ、ドイツ、フランス、トルコ）、アフリカ（アルジェリア、エジプト、チュニジア）、アジア（フィリピン、マレーシア、韓国）及び北米大陸（アメリカ合衆国）からも患者の報告があります。

（2）韓国の状況

香港に立ち寄った患者から韓国人が感染し、韓国での発症が話題になっています。6月3日時点で、韓国での感染者数は30名、うち3次感染は3名。死亡者は2名です。韓国では感染者疑いが391人、隔離（自宅含む）などの監視対象者が1、300人以上になった、と報道されています。

【参考】

<http://www.forth.go.jp/news/2015/02021049.html>

【関連記事】

<http://news.livedoor.com/article/detail/10176787/>